

日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールの仕様等について

1. 日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールの概要

日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールは下記のような機能を提供することとする。

① 暮らしの環境家計簿（仮称）機能

- 従来の環境家計簿に、3EID による排出原単位を活用した排出量算定ができる機能を追加し、家計が購入するモノ・サービスの消費に伴う CO2 排出量の比率を表示する。
- 家庭でのエネルギー使用、食料品購入金額の推移の月、年単位比較を行うことで、経年変化を表示する。
- 環境家計簿自体は、Web サイトに費目別の家計支出額を直接入力または選択し計算・保存する形式とすることで、長期間に渡る環境家計簿のデータを保有することができ、過去のエネルギー使用量や食料品の購入量を振り返ることができるようになる。
- また、各家庭の蓄積されたデータを自動で分析し、排出削減メニューを提示するアドバイス機能も付加する。

② 排出量算定・表示機能

- 貨幣単価で排出量を算定する環境家計簿とは別に、カーボン・オフセット等への取組を支援するため、物量(固有)単位ベースでの温室効果ガス排出量の簡易推計及び標準値の提供を行う。
- 温室効果ガス排出量の簡易推計は、Web サイトの必要事項を選択することで計算結果が表示される方式を採用する。

③ 商品・サービスの排出量情報・削減対策の効果に関する情報提供機能

- ①②の結果を踏まえた日常生活における CO2 排出のムダを解消するための商品選択の情報や削減対策の効果に関する CO2 削減対策情報を提供する。
- 情報提供の分類としては、日常生活のシーン別に「暮らし」「買い物」「遊び」「移動」の 4 つの場面が考えられる。更に、買い物については、家計消費のタイミングから家計が購入するモノ・サービスを整理すると、家の購入・リフォームなどの 20～40 年単位での大型投資、車や TV などのように数年～10 年単位の不定期に購入する大型耐久消費財、毎日または月単位で購入する食料品・日用品の非耐久消費財購入という 3 つのステージに分けた情報提供が考えられる。

表 1 日常生活の排出量の分類と見せ方の整理

テーマ	見える化の対象	詳細	削減のヒント
くらし	モノ・サービス全般/エネルギー使用に伴う排出	電気・ガス、食料品・日用品、水道／等	省エネ生活のヒント 省 CO2 なお金の使い方についての情報を提供する
買い物	毎月の消費に伴う排出	乗用車使用、電化製品使用、ショッピング(通販・店舗購入、外食/等)	低炭素な買い方(選択、購入方法等)、使い方(家電使用、ドライブ、調理等)のヒント 家庭の機器別エネルギー消費実態をわかりやすく整理し、どのようなライフスタイルが低炭素型生活なのかを居住地域や住居タイプ、世帯構成別に提示し、きめ細かな普及啓発を行う。
	数年～10年単位の消費に伴う排出	大型耐久消費財(エアコン・TV・車)の購入	低炭素な買い方のヒント
	20～40年単位の投資に伴う排出	転居(借家)、住宅のリフォーム・購入	低炭素な住居の選び方、リフォーム、建築のヒント
遊び	レジャー・イベント、ホテル・旅館の排出	映画館、コンサート、スポーツなどの遊び	低炭素な余暇の過ごし方のヒント
移動	都心や地方等の地域特性やシーン別の移動の排出	地域別の鉄道・飛行機・バス・自動車の利用	低炭素な移動のヒント

2. 日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールの段階的整備の考え方

- 日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールは、既存の文献・データ等をもとに設計・構築することとする(表示例は別紙参照)。
- 平成 21 年度よりモデル事業を実施し、モデル世帯にある主要な家電等に電力計を設置して使用電力量及び削減努力の効果を実測し、カタログ値との乖離状況等の把握と要因分析、また地域・家計別の、間接排出の割合の差異などの検証を行う。その結果については日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールのコンテンツとして活用することとする。
- モデル家庭における環境家計簿や日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールのプロトタイプが完成した段階でモニター調査(試験的使用)を実施し、環境家計簿の使い勝手や家庭において求められる情報を整理し、日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールに反映した上で、一般に公開することとする。
- なお、既存データによる情報提供だけではデータの信頼性等に限界があるため、平成 21 年度以降、各商品・サービスを提供している事業者と連携を図りつつ、継続的に提供データの精度向上に努めることとする。

3. 日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールの仕様（案）

（1）システム概要

日常生活 CO2 情報提供（仮称）ツールの機能を提供するシステムの概要は下記の通りである。なお、排出量データベース及び排出削減対策データベースの内容については、Web の公開情報としても提供することとし、排出量の標準値及び算定方法を PDF 化してダウンロード可能にする。

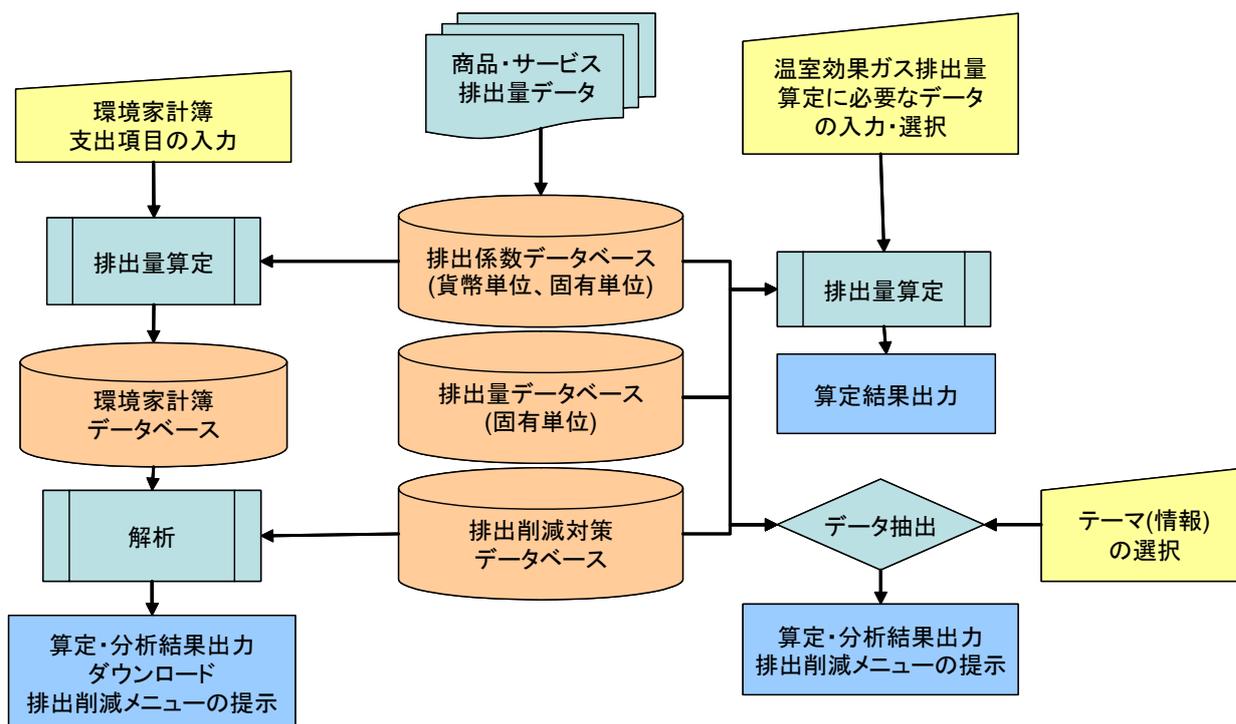


図 1 CO2 情報提供（仮称）ツールのシステム概念図

(2) ホームページ見取り図

日常生活 CO2 情報提供(仮称)ツールのホームページ見取り図は下記の通りである。トップページからユーザーの日常生活に関する情報を入力し、詳細な算定に進んでいく。

